

# 秋のハイキング



# 八王子城跡へ

## 『八王子城址散策』

9月29日(日)、久保田さんの企画・アテンドで、八王子城址を散策しました。

参加者は11名(久保田、安松、土谷、吉本、鶴田、濱田、野中、栗田、熊田、小林、伊藤)。2～3日前の天気予報では、一時雨でしたが、皆さんの行いが良かったのか?・・・好天気に恵まれてとても楽しい散策でした。



八王子に お城(山城)があったんだ…?

午後1時にJR三鷹駅に集合して、1:04

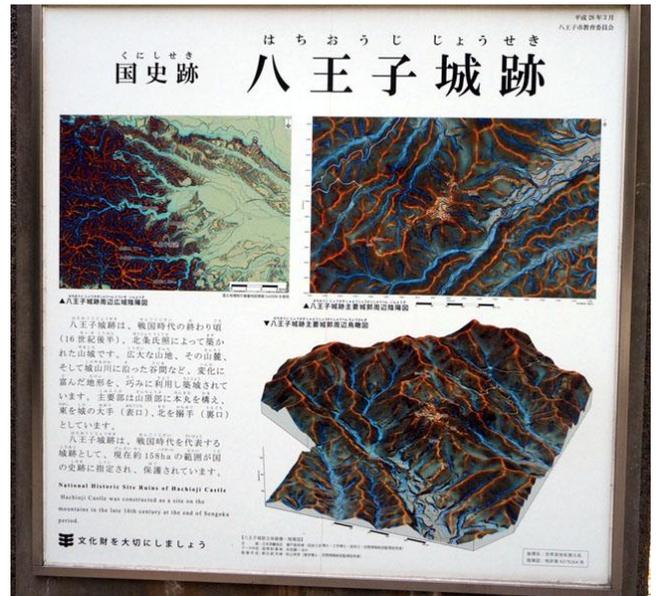
発の快速で高尾駅へ。そして高尾駅発

2:02のバスで八王子城址へ向いました。

<高尾駅前バス待ちのビールブレイク>

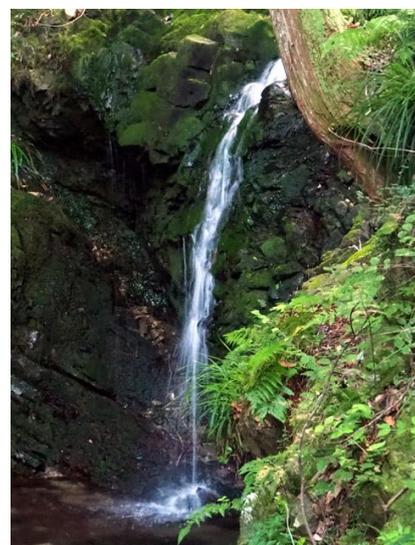


<ビールブレイク後、いざ出発！>

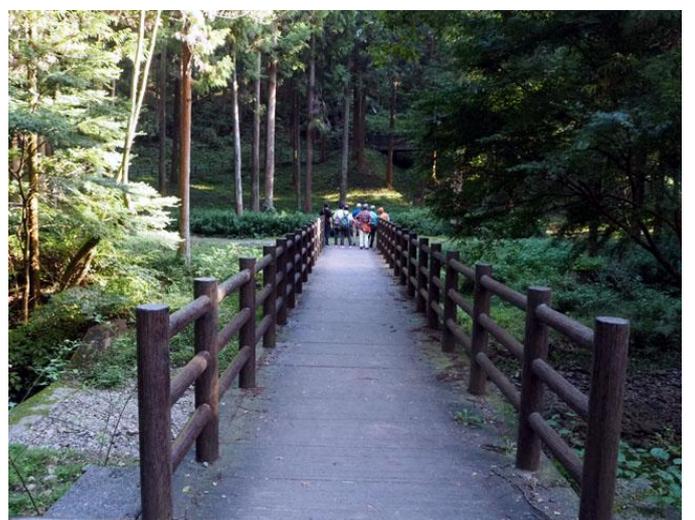
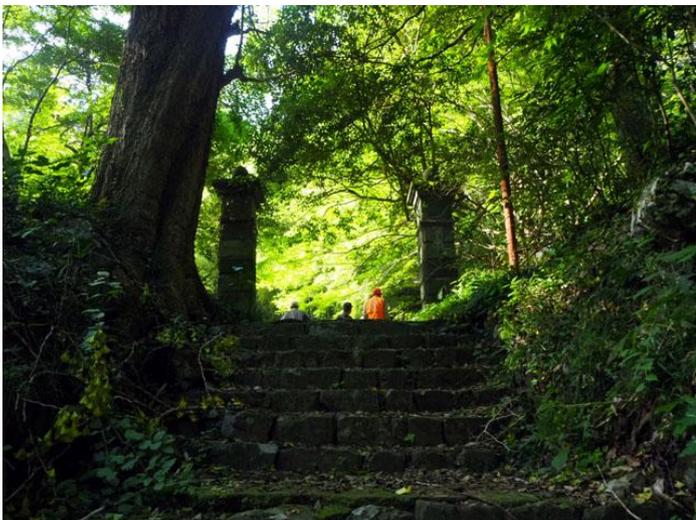


ガイダンス施設で、八王子城跡のビデオを見て、2班に分かれて、午後2時半頃

から4時頃まで ボランティア ガイドの説明を聞きながら1時間半の散策でした。  
ガイドをして頂いた 横内さん、村松さんの明確な説明で、八王子城址の事がよく  
理解でき、歴史の勉強になりました。ガイドのお二人、有難うございました。



<八王子城跡ガイダンス施設前で全員集合！>





<曳橋>



### 御主殿への経路

御主殿へは、城山川上流域を越えて向かうため、このあたりに橋が架かっていたと考えられています。しかし、当時の正確な場所や構造、名称はわかっていません。

これまで使用していた「曳橋」という名称は、江戸時代後期の地誌『武威名勝図会』の記載によるものです(文政三年脱稿:1820)。右下の拡大図にあるような、すぐに壊すことのできる簡素な橋が架けられていたと考えられています。

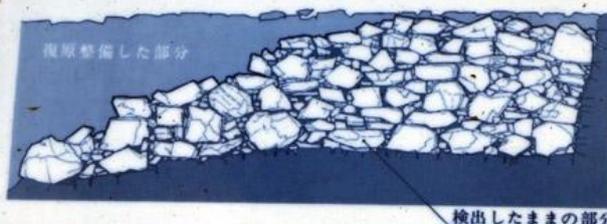
今回整備した橋は、当時の復元としてではなく、見学者が御主殿跡へ行くための通路として城山川に架けたものです。

平成 28 年 3 月  
八王子市教育委員会




### 築城当時の石垣

復原整備した部分



検出したままの部分

この石垣は、土の中に 400 年間くずれずによく残っていたので、検出したそのままの状態にしてあります。戦国時代の石積様式を示す全国でも貴重なものです。その特徴は、この城山山中から産出す



検出した石垣

る砂岩を利用して、ひとつ一つていねいに積み重ね、その隙間には小石を詰めて全体として強固な石垣としていることです。また、石垣の勾配が急なこと、石垣の裏側にたくさんの砕いた石を入れていることも特徴です。

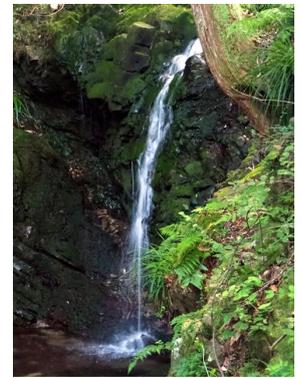




<虎口(曲輪の出入口)>



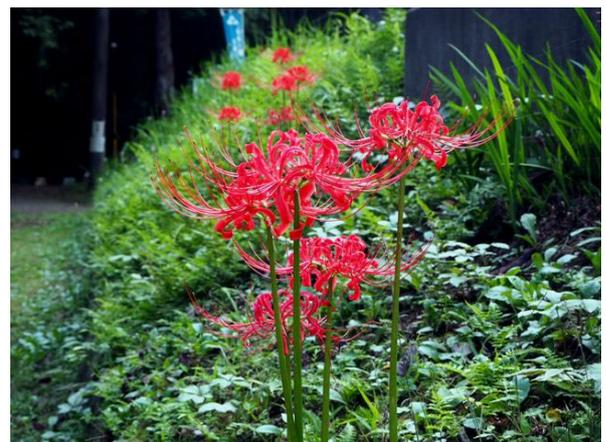
<御主殿跡(居館)>



<御主殿の滝>



今回は、時間の都合、本丸(頂上)までは行けませんでした。来年は是非、本丸へ！明女会の皆さんも参加して下さい！高尾駅で「取り敢えず解散」…しました！



～ 高尾駅 南口の居酒屋「ミライザカ」で反省会 ～



「皆さん、お疲れさま。乾杯！」 天気が良かったので生ビールが旨かった！！

久保田さん、大変お世話になりました。有難うございました。

来年も宜しく願います。



報告 : 伊藤和明 <昭和44年 商学部卒>

撮影 : 栗田孝行、安松弘行、濱田 豊